






# 令和6年 **3**月の優しさ通信

## 目次

- (1)  訪問看護や介護で人材需要増 高い離職率、待遇課題
- (2)  保育士らの賃上げ検証 データ開示で人手確保
- (3)  虐待相談、過去最多 21.9 万件 行政側、重い業務負担
- (4)  民間保育園「学び」競う 体操や英会話
- (5)  「事故防げる」子ども啓発

## ♥ 3月の福祉用具 – 福祉住宅改修の基礎知識 洗面・脱衣室

### (1) 訪問看護や介護で人材需要増

#### 高い離職率、待遇課題

- \*国内の看護師数は、2020年時点で132万人（1990年42.1万人）。
- \*背景には訪問看護や高齢者介護といった需要の高まり。
- \*人口10万人当たりの看護職員の就業者数（2020年）は、都市部で全国平均を下回ります。
- \*夜間勤務を含め不規則な勤務形態などの要因から、離職率は高い傾向。  
（2024年2月5日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）

### (2) 保育士らの賃上げ検証 データ開示で人手確保

#### 自治体への年1回報告義務付け

- \*こども家庭庁は2025年度から保育所などに職員の給与実態の報告を義務付けます。
- \*認可保育所や認定こども園、一部の幼稚園などを対象に年1回、都道府県への経営情報の報告を義務にします。
- \*収支や職員一人ひとりの給与実態、職員配置の状況の報告を求める方向です。
- \*実際に保育士らの処遇が改善したかなどを検証します。
- \*保育士の2022年度の有効求人倍率は2.46倍（全体平均は1.31倍）。
- \*2022年時点の保育士の平均月収は260,800円（全産業平均は311,800円）。  
（2024年2月8日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）

### (3) 虐待相談、過去最多 21.9 万件

#### 行政側、重い業務負担

\*2022 年度に全国の児童相談所に寄せられた子どもの虐待を巡る相談は、219,170 件。調査を始めた 1990 年度以降で最多。

\*国は 2024 年 4 月に改正児童福祉法を施行。

\*子育てに関わる包括的な支援を担う「こども家庭センター」の設置を各市町村の努力義務に。

\*家事や育児に不安を抱える子育て世帯への訪問型の支援。

\*虐待を未然に防ぐ環境づくりを促します。

(2024 年 2 月 17 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



### (4) 民間保育園「学び」競う 体操や英会話

#### 待機児童減で定員割れに 「平等重視」自治体の壁も

\*放棄の受け皿の拡大や就学前の子どもの数の減少で保育園に入れない「待機児童」が減少。

\*地域によっては保育園が入園希望者を取り合う構図も。

\*2023 年 4 月時点、待機児童の数は 2,680 人と 2017 年の 26,081 人をピークに 9 割ほど減少。

\*こども園を含む保育所などの数は、2022 年比 345 か所増の 39,589 か所。

\*定員に対する充足率は 89%。

\*保育各社は保育料とは別に料金を徴収して様々な保育サービスを提供。

\*体操教室、英会話プログラム、ダンス、音楽、アートなど。

\*認可保育所は、法律上で児童福祉施設とされ、主に自治体からの補助金で運営。

\*福祉的な観点から「平等」が重視され、保育料とは別にサービス料金を取る付加的保育を認めない自治体が多くあります。

\*幼稚園や認可外保育所は比較的自由に教育サービスを提供できます。

(2024 年 2 月 25 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

## (5) 「事故防げる」子ども啓発

●川の中で溺れかけ、助けを求める人を見かけたら、どうすればよいのでしょうか。

\*やみくもに飛び込むことが正解ではありません。

\*川は急に深くなるなど、消防士ら救助のプロでも入ることをためらうほど予測が難しくなります。

\*まずは速やかに消防などに通報し、救助を待つ間にできることとして、溺れている人にペットボトルなどの浮くものを投げ入れることが挙げられます。

**子ども事故死、2022年181人 減少でも死因上位に**

\*2022年に不慮の事故で亡くなった子どもは181人。

\*窒息77人、交通事故40人、溺死・溺水37人。

\*不慮の事故死は減少傾向。

\*不慮の事故死は0歳、5～9歳、10～14歳で3位、1～4歳で2位。

\*0～14歳までのすべての年齢層で死因の上位3位以内となっています。

(2024年2月26日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



## 3月の福祉用具－福祉住宅改修の基礎知識 洗面・脱衣室

### ① スペース

\*間口・奥行きとも182cm以上確保できれば、ベンチやいすに腰を下ろしての着脱動作が可能。

### ② 洗面カウンター

\*カウンター取り付け高さは床面より75～80cmを基準に、本人に合わせて高さを決定。

### ③ 収納

\*洗面カウンター左右の収納を上手に活用。

### ④ 暖房

\*輻射暖房が良いです。

\*床暖房があると、床面からいつも乾いている状態になることから脱着衣もしやすくなります。

(参考：福祉住環境コーディネーターテキスト&福祉用具専門相談員研修用テキスト・介護用品カタログより)